

「伊豆市学校再編計画」「小・中学校の適正規模・適正配置」の

見直しに関する要望書

「湯ヶ島小学校の存続について」

伊豆市教育長 遠藤 浩三郎 様

貴職におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、この度の「伊豆市学校再編計画」「小・中学校の適正規模・適正配置」によると、児童数の減少予測により平成24年度に天城湯ヶ島地区の3小学校を1校に再編成し、規模の適正を図ると成っております。

しかし、この計画に示されている小規模校の課題である「クラス替えが出来ない」ということに、「教育上のおおきな問題を認める事が出来ます。」という根拠には論理性に飛躍があり、且つ無理があると思われます。

湯ヶ島小学校は「井上 靖 先生」と深く関わりがあり、湯ヶ島小学校を拠点とした「伝統・文化」があり形成されてきた歴史があります。今回の再編計画により湯ヶ島小学校が廃校になった場合湯ヶ島地区住民の地域に対する意識が希薄になり、ひいては地域力の低下に繋がる恐れがあります。

又、教育の観点からも、静岡県から表彰されたPTA全会員による「お話の玉手箱」や「あすなろ学習発表会」「なかよし鍋」「克己タイム」など小規模校ならではの特色有る教育で着実に成果を上げています。

今、文部科学省は子ども達の個性を伸ばす教育に力を入れ、地域が子ども達を育てていくことに重点を置いています。学校再編計画の方向性にも示されている伊豆市をそして日本を担う子供たちのより良い学習環境を育む教育は、まさに湯ヶ島小学校で現在実践されている事柄と存じます。又、再編された折の通学時における児童の生命・安全が保証できるとは確認されておられません。

今回、湯ヶ島小学校PTA評議委員会に於いて、「湯ヶ島小学校の存続」に全員賛成でした。又、自由な意見を求めたところ、多くの方から湯ヶ島小学校の良いところを指摘した意見を頂きました。

是非、湯ヶ島小学校教育の実情や伝統、且つ伊豆市有数の文教地区たる地域環境保全の努力をご考慮頂きたいと存じます。

以上の理由から、平成24年度の「天城地区学校再編・湯ヶ島小学校を統合する計画」の見直し、白紙撤回を要望いたします。

平成22年 2月 3日

伊豆市立湯ヶ島小学校PTA会長

伊豆市立湯ヶ島小学校PTA評議委員一同